

『歩み』

北朝鮮の有名な歌である『歩み』(パルコルム・발걸음・^{リジョンオ}李鍾杔詞・曲)について述べたい。

この歌は、2009年2月に朝鮮中央放送を通じて発表された。金正恩(キム・ジョンウン)が金正日(キム・ジョンイル)総書記の後継者候補として浮上した金正恩のテーマ曲である。

現在では2012年から政権を担った金正恩党委員長を讃える重要な歌と位置付けられている。

2014年に発行された歌集「大衆歌謡選集」(文学芸術出版社)には8番目に載せられている。

2016年に発行された歌集「青年強国よ 前へ」(文学芸術出版社)では、1番目 **不滅の革命頌歌『金日成将軍の歌』**(キムイルソン チャングネレ・

^{リチャン}김일성장군의 노래・1946年・^{キムウォンギョ}李燦詞・金元均曲)、2番目 **不滅の革命頌歌『金正日将軍の歌』**(キムジョンイル チャングネレ・^{金正日}김정일장군의 노래・1997

年・^{シンウンホ}申運浩詞・^{ソルミョンスン}薛明淳曲)に次いで3番目にランキングされている。ただし、「**不滅の革命頌歌**」という尊称は付けられていない。

実は、この歌は、2009年に初めて創作されたものではない。1992年1月8日、金正恩の9歳の誕生を祝うロイヤルファミリーのパーティーで金正恩にプレゼントされた歌であった。

金正日の料理人であった藤本健二が韓国の「月刊朝鮮」2010年11月号のインタビュー記事で明かしている。(以下要約して引用する)

1992年1月8日の朝に元山招待所では金正恩の誕生パーティーの準備で忙しかった。藤本は金正恩らに花束を贈呈する3名の少女や労働党の幹部35名と一緒に祝賀あいさつを大声で何度も反復練習した。

午前11時30分金正日がパーティー会場に入ってきた。続いて金正恩、金正哲(キム・ジョンチョル)、金与正(キム・ヨジョン)の3名の子供、金正日夫人である高英姫(コ・ヨンビ)が金玉(キム・オク)と一緒に入ってきた。出迎える幹部たちの拍手がやまなかったが、金正日が両手で制止の合図をしてようやく拍手は止まった。9歳になった金正恩大

山根俊郎

将は黒い洋服に蝶ネクタイ姿ではにかみの笑みを浮かべていた。花束贈呈、一同の祝賀あいさつに金正恩は「ありがとう」と答礼あいさつをした。その後、全員が宴会場に移動した。

主賓たちの大きな正方形のテーブルの横に秘書室幹部たちが座る円卓テーブルがあり、座席の名札と料理のメニューと歌の歌詞が置いてあった。歌のタイトルは『歩み』であった。

金容淳(キム・ヨンス)労働党秘書があいさつをして全員グラスを持ち、正恩大将と一人ずつ乾杯をした。

舞台の幕が上がりポチョンボ電子楽団の歌と演奏が始まった。『歩み』の演奏であった。藤本は「一度聞けば、演奏について歌える軽快なリズムであった」という。宴会場は、すぐに『歩み』の大合唱となった。

『歩み』は金正日が金正恩に与えた誕生プレゼントであった。金正日は楽団に3、4回合唱させた後、作詞家・作曲家を激励した。(注：公式的には李鍾杔が一人で作詞・作曲をしたことになっている)

金正日は「小さい大将のために良い歌を作ってくれてありがとう」と言い、金正恩も「ありがとう」とあいさつした。

藤本は『歩み』について「金正日が正哲大将や与正公主(お姫さま)に歌を与えた記憶はない。『歩み』は覚えやすくメロディーも軽快だ。ただし、現在の歌詞の中で「金大将」(김대장)の部分は当時「小さい大将」(작은 대장)であった」と言う。(以上が引用部分である)

当時、兄の正哲は「大きい大将」(큰 대장)、弟の正恩は「小さい大将」と呼ばれたようだ。

なお、歌詞の中の「2月」は金正日総書記の誕生日である2月16日を表している。

芸術を好んだ金正日総書記がわが子正恩の9歳の誕生日を祝うために作らせた歌謡『歩み』が、後に金正恩党委員長を讃える歌になった。

YOUTUBE 北朝鮮 「歩み (パルコルム) (발걸음)」

「民族同士・우리민족끼리 2017/01/08 日本語字幕付き」

<https://www.youtube.com/watch?v=GJfblGgNsOQ>